
「5G」による変化

2019年12月13日

株式会社 日立情報通信エンジニアリング
IPTソリューション事業部
梶川博史

■ 5Gで何が変わるのか？

- ・超高速(20Gbps)、低遅延(1ms)、多接続(100万台)、...
- ・8K動画伝送、自動運転、遠隔医療、などの5Gキラーアプリに期待

■ もうひとつの大きな変化 → 規制緩和

- ・ 自営BWA、ローカル5Gの登場により、一般の企業も限られたエリアで周波数の割当を受け、5Gを自営無線として利用できるようになる。

■ 従来 of 制約(気が付かないうちに制約を受けていた)

- ・PHS: ライセンスは不要だが屋内のみの利用、専用端末が必要。
- ・無線LAN: ライセンス不要でPC・スマホで安価な高速通信が可能だが、屋内のみでセキュリティに難。
- ・スマホ(SIM): キャリアからしか購入できなかった。
- ・拠点間接続: 同じ敷地でも屋外にまたがる場合は有線を敷設、無線を使うにはモバイルキャリアと契約。
- ・業務システム: 端末やネットワークの制約に縛られ、個別のIT基盤管理・運用が必要。



自営BWA、ローカル5Gの導入により、IT基盤を一気にリプレース

- ネットワーク、端末は統一的な方式に集約、IT基盤もシンプル化
- 無線利用により現場ネットワーク構築でフレキシビリティが高い
- SIMによる強固な端末認証
- 総務省の免許取得は必要だが、全国キャリアの免許付与は当面なし

ロードマップ

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

HITACHI
Inspire the Next



社会情勢

人口(労働人口含む)減少、少子高齢化

2025年生産年齢人口
17年比5%減
7,000万人

- ▲介護人材不足(3万人)
- ▲東京オリパラ、インバンド増加

SNS利用拡大、音声からデータへ

業種・業務別デジタルソリューション・サービスが進展

業務効率向上が急務な業種から導入が進む

インダストリ

病院・介護

ホテル

スポーツ
エンタメ



無線領域

M2M

データ

IoT

〔自営無線プラットフォーム市場の立ち上がり〕

sXGP、自営BWA、Local-5G事業を推進



HITACHI
Inspire the Next